

令和8年度

番号		工期	日間 又は
令和 年 月 日提出			令和8年 10月31日 まで

設 計 書

件名 横浜市立大学附属病院空調機器整備委託(9-4病棟パッケージエアコン)

場所 横浜市金沢区福浦三丁目9番地 横浜市立大学附属病院

概要 9401～9409のエアコンは現在室外機1台で室内機9台を運転してい
るが、これを室外機9台・室内機9台の構成に整備する。
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

理由 空調機器を長期使用していることにより、能力低下や故障が頻発し、
環境維持に支障をきたしているため。
.....
.....

金額入り ・ 金額抜き

設計金額

.-

内訳

価格

.-

消費税相当額

.-

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	既設機器撤去費(内訳)												
(1)	既設機器撤去費			1		式							
(2)	既設冷媒、ドレン配管取外し費			1		式							
(3)	既設電気配線離線費			1		式							
(4)	既設冷媒回収破壊処理費(1回分)			1		式							
(5)	室内養生、清掃片付け費			1		式							
(6)	消耗品、雑材料費			1		式							
	小計												
3	新設設備費(内訳)												
(1)	新設機器搬入据付費			1		式							
(2)	室外機用2段架台取付費(4ヶ)			1		式							
(3)	室外機用スライドブロック取付費			1		式							
(4)	冷媒・ドレン配管費												
	冷媒配管材	Cut φ12.7 (20t)		73		本							
	冷媒配管材	Cut φ6.35 (10t)		7		巻							
	同上継手、支持金物類			1		式							
	冷媒配管工賃			1		式							
	ドレン配管再接続費			1		式							
	屋外スリムダクト取付費			1		式							

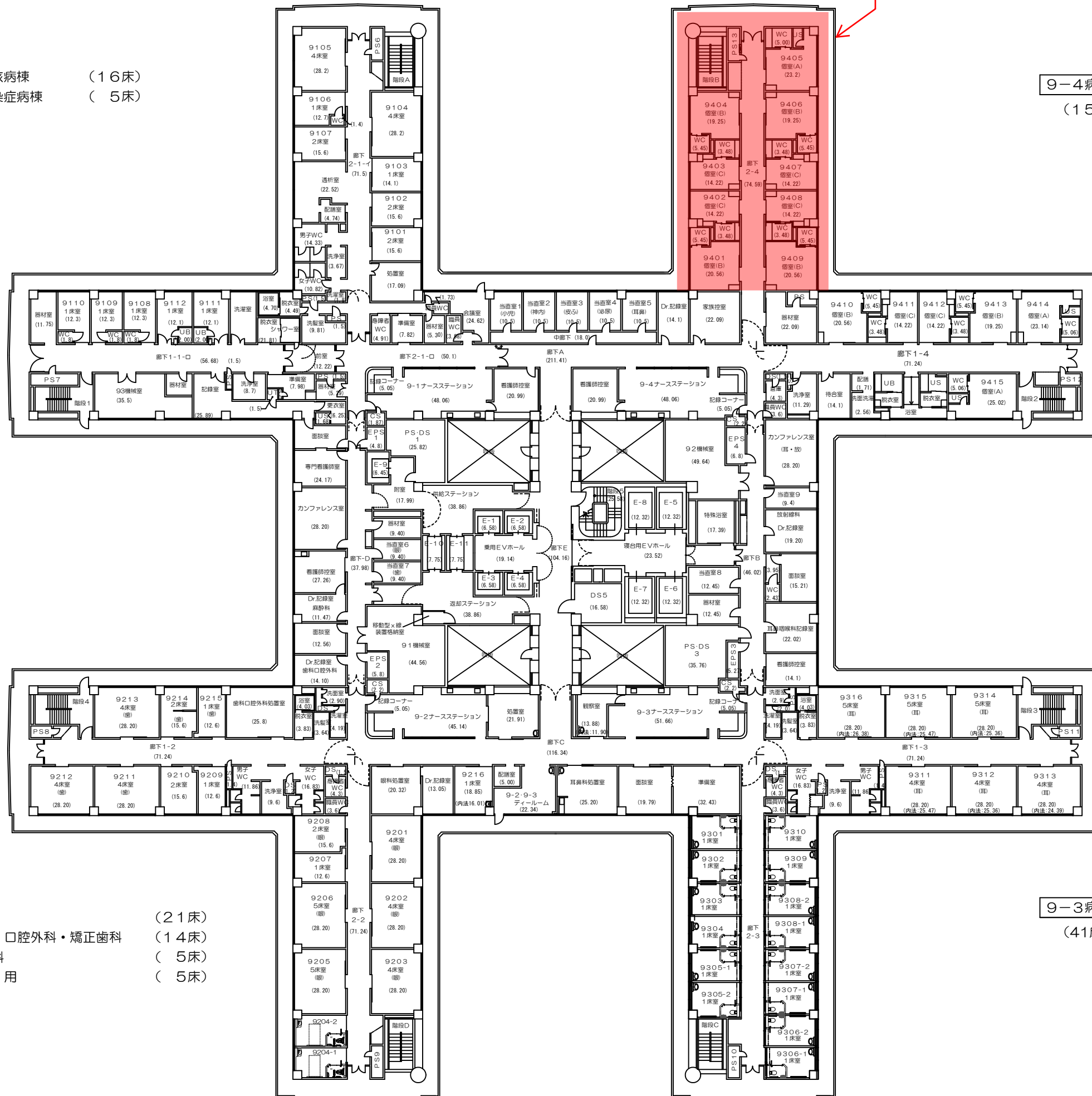
特記仕様書

- 1 件名 : 横浜市立大学附属病院空調機器整備委託(9-4病棟パッケージエアコン)
- 2 場所 : 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学附属病院
- 3 概要 9401~9409のエアコンは現在室外機1台で室内機9台を運転しているが、これを室外機9台・室内機9台の構成に整備する。
- 4 特記事項
 - (1) 下請業者(専門業者)については、市内業者の優先使用を配慮すること。
 - (2) 請負人は、工事事故等により横浜市から、指名停止処分を受けて指名停止期間中の者、又は、横浜市からこれと同等と認められて、指名停止期間中の者を下請人としてはならない。
 - (3) 施設内への出入りに際しては、施設管理者に人員等を報告の上、腕章・名札・ヘルメット等を着用し身分を明らかにすること。
 - (4) 従事者は、その業務上知りえた情報その他の守秘義務を負うこと。
 - (5) 廃棄物等については「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」などの法令に従い、適正に処分すること。
 - (6) 不慮の事故に備え、委託中および委託後は24時間連絡・対応が可能な体制にすること。
 - (7) 既設天埋型エアコン及び付帯設備は天井内残置とすること。また、既設冷媒配管の防火区画貫通部は撤去し、新設配管を敷設すること。
 - (8) 室外機は9階外部B階段横のスペースに設置し、手すりより転落防止金具を取り付けること。
 - (9) 室外機への冷媒配管は2系統にまとめて貫通できる大きさとし、スリムダクトに納めること。
 - (10) 冷媒配管は既設吊りボルトに配管用吊り金具を取り付け、固定します。
 - (11) 既設リモコン配線は再利用とすること。
 - (12) 新設機器はスライドブロック上に2段高置台を取り付け設置すること。
 - (13) 室外機電源は既設屋外盤の100Aブレーカーより取り、9階外部B階段の新設屋外盤に取り入れ、分岐後各室外機へ供給しすること。電源配線は既設冷媒配管及び新設配管に沿わせ室外機へ配線すること。
 - (14) 室内機に既設OAダクトを取り付けること。
 - (15) ナースステーションにて集中リモコンを使用しているため、更新後は再接続すること。

9-1病棟 結核病棟 (16床)
 (21床) 感染症病棟 (5床)

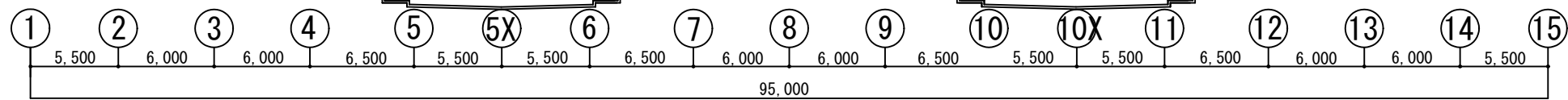
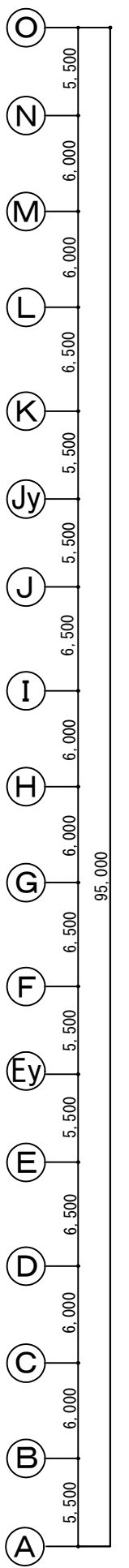
9-4病棟 個室病棟 (15床)
 (15床)

整備エリア



9-2病棟 眼科 (21床)
 (46床) 歯科・口腔外科・矯正歯科 (14床)
 麻酔科 (5床)
 共用 (5床)

9-3病棟 (41床)



空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン 店舗用室外ユニット 仕様表

品番

仕様表

運転条件(JIS B 8616)

項		目		仕様(50/60Hz)	
型		式		-	
運転性能	冷房性能	定格標準	能力	kW	3.6[1.4~4.0]
			消費電力	kW	0.624
			運転電流	A	2.0
			力率	%	90
			EER	kW/kW	5.77
			始動電流	A	-
	暖房性能	定格標準	能力	kW	4.0[1.0~5.4]
			消費電力	kW	0.677
			運転電流	A	2.1
			力率	%	93
			COP	kW/kW	5.91
			最大低温	能力	kW
	消費電力	kW	1.64		
	始動電流	A	-		
	冷暖平均エネルギー消費効率	kW/kW	5.84		
	最大運転電流	A	9.0		
	音圧レベル運転音(冷房/暖房)	dB(A)	45/47		
	音響パワーレベル運転音(冷房/暖房)	dB(A)	65/67		
	外装色<マンセル(近似値)>	-	ナチュラルグレー<2.9Y7.8/1>		
	外形寸法<W×D×H>	mm	799(+99)×300×629		
	圧縮機	-	0.55kW 全密閉形		
	熱交換器	-	多通路クロスフィン式		
	冷媒種類×封入量(出荷時)	-	R32×1.3kg		
	冷媒制御装置	-	電子膨張弁		
	冷暖房切換装置	-	電磁四方弁		
	送風機	-	プロペラファン×1		
	風量(冷房/暖房)	m ³ /min	45.9/45.9		
	送風機用電動機	kW	0.05		
	保護装置	-	高圧遮断装置 電流検出用変流器 基板電源ヒューズ [*] 動力用ヒューズ [*] 吐出ガス過熱防止用サーミスター		
	製品質量	kg	38		
	冷媒配管径(液側/ガス側)	mm	φ6.35/φ12.7		
	IPコード	-	IPX4		
	電源	-	三相200V 50/60Hz		
	法定冷凍能力	トン	1.17		

		吸込空気温度	
冷房標準	室内	乾球	27°C
		湿球	19°C
	室外	乾球	35°C
暖房標準	室内	乾球	20°C
	室外	乾球	7°C
		湿球	6°C
暖房低温	室内	乾球	20°C
	室外	乾球	2°C
		湿球	1°C

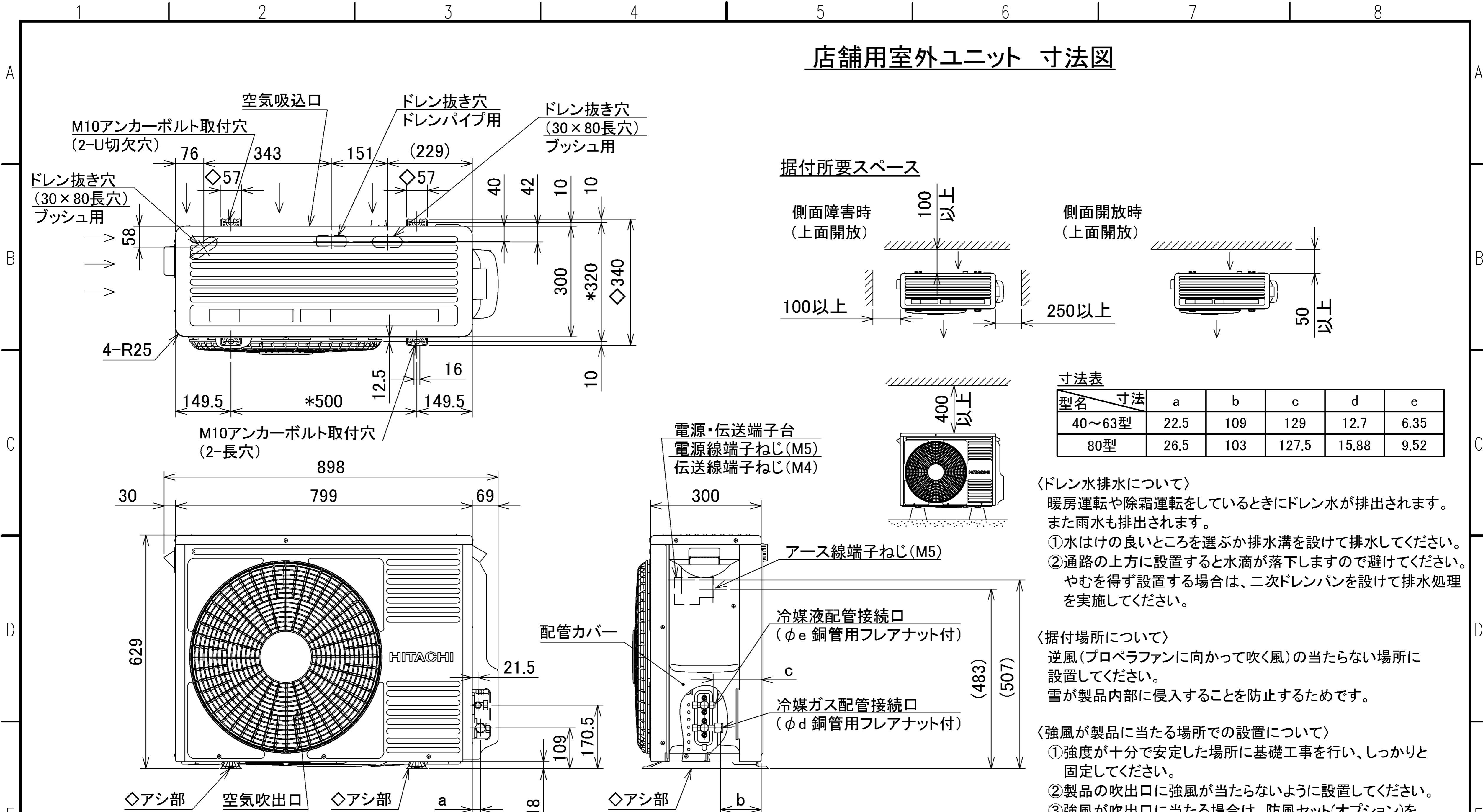
- (注) 1.運転性能はてんかせ4方向と組み合わせた場合の室外ユニット性能を示します。
[]内はインバーターによる可変範囲を示します。
2.運転性能は右上表の運転条件で運転した場合を示します。
(配管長 5.0 m・高低差 0 m)
3.音圧レベル運転音は反響の少ない無響室で、製品正面1.0m・地上高さ1.5mの測定位置における値(Aスケール)を示します。
実際の据付状態は周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。
4.音響パワーレベル運転音はJIS B 8616:2015に基づいた値です。

品名

仕様表

作成日
2022-12-23

店舗用室外ユニット 寸法図



寸法表

型名	寸法	a	b	c	d	e
40~63型		22.5	109	129	12.7	6.35
80型		26.5	103	127.5	15.88	9.52

〈ドレン水排水について〉

暖房運転や除霜運転をしているときにドレン水が排出されます。また雨水も排出されます。

- ① 水はけの良いところを選ぶか排水溝を設けて排水してください。
- ② 通路の上方に設置すると水滴が落下しますので避けてください。やむを得ず設置する場合は、二次ドレンパンを設けて排水処理を実施してください。

〈据付場所について〉

逆風(プロペラファンに向かって吹く風)の当たらない場所に設置してください。雪が製品内部に侵入することを防止するためです。

〈強風が製品に当たる場所での設置について〉

- ① 強度が十分で安定した場所に基礎工事を行い、しっかりと固定してください。
- ② 製品の吹出口に強風が当たらないように設置してください。
- ③ 強風が吹出口に当たる場合は、防風セット(オプション)をご使用ください。詳細は据付点検要領書をご参照ください。

注記

1. 本機は、配管長30mまでのチャージレス機です。
配管長が30mを超える場合は、現地にて冷媒を追加する必要があります。
2. 阻止弁は配管カバー内部にあります。
3. 電源・伝送接続端子台とアース接続端子は配管カバー内部にあります。
4. *印寸法は、アンカーボルト取付穴ピッチ寸法を示します。
5. 室外ユニットを設置する際は、必ずアシ部(◇部)全面で荷重を受けてください。
基礎・架台等に設置する場合や、防振マットを取り付ける場合もアシ部全面で荷重を受ける構造としてください。詳細は据付点検要領書をご参照ください。

記号	来歴	
品名	寸法図	投影法
		尺度
		単位
		作成日
		2022-12-13

1 2 3 4

空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン てんかせ2方向室内ユニット 仕様表

品番	
----	--

仕様表

運転条件(JIS B 8616)

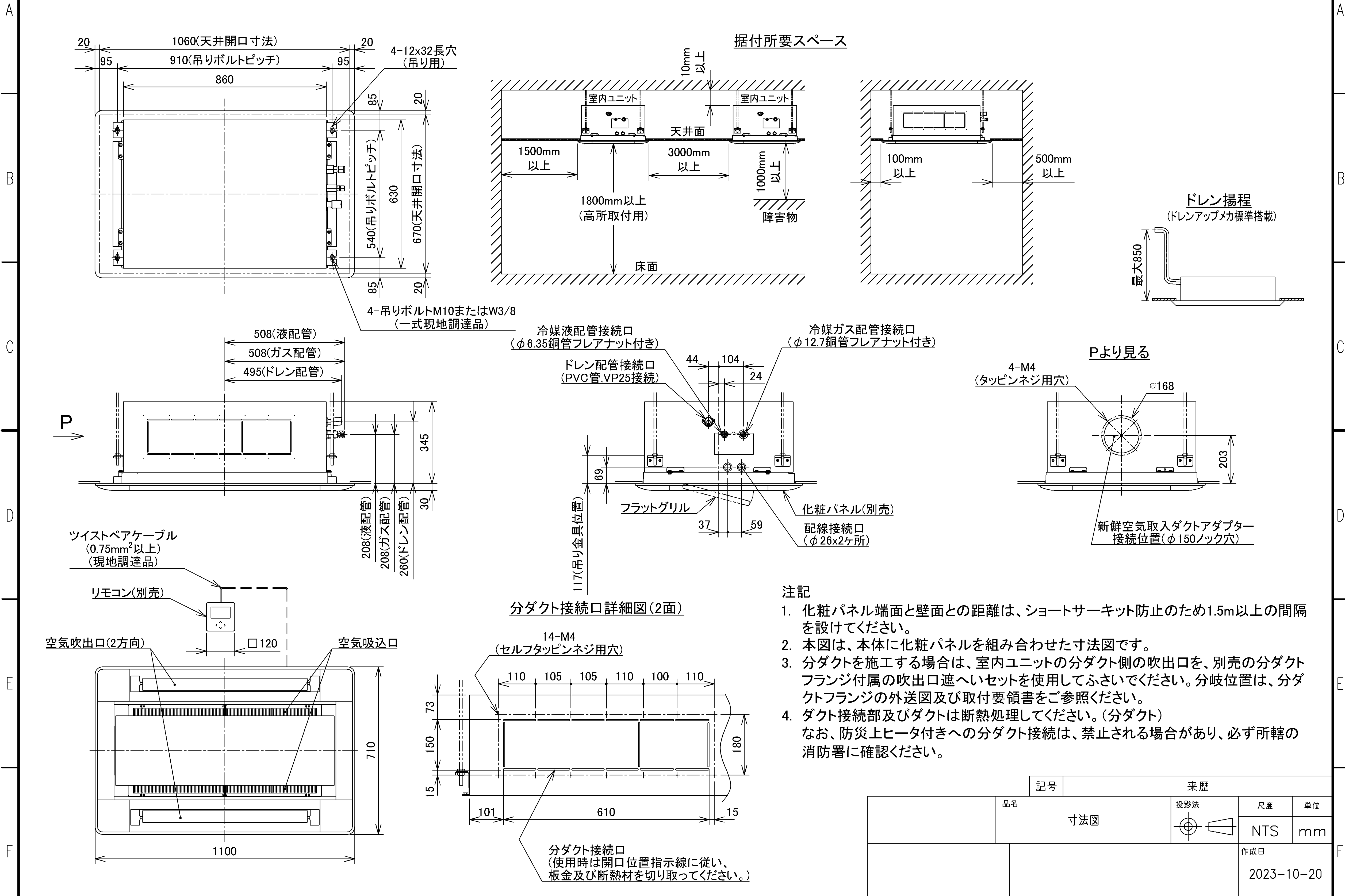
項		目		仕様(50/60Hz)
型		式		RCID-GP40KA
性能	冷房	定格能力	kW	4.0
		定格消費電力	kW	0.05
	ビル用マルチ冷房定格時の顕熱比 (SHF)		-	0.84
	暖房	定格能力	kW	4.8
定格消費電力		kW	0.04	
音圧レベル運転音(H急-急-強-弱)		dB (A)	37-34-31-30	
音響パワーレベル運転音(H急-急-強-弱)		dB (A)	51-49-47-46	
外装		-	溶融亜鉛めっき鋼板	
外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm	860×630×345	
エアフィルター		-	ポリプロピレン製(防カビ)	
熱交換器		-	多通路クロスフィン式	
冷媒		-	R410A/R32	
冷媒制御装置		-	電子制御膨張弁	
補助電気加熱器	消費電力	kW	-	
	運転電流	A	-	
送風機		-	片吸込遠心送風機×1	
送風機用電動機(出力×個数)		kW	0.057×1	
風量(H急-急-強-弱)		m ³ /min	15-13-11.5-10	
機外静圧		Pa	0	
風向調節		-	上下自動	
空気温度調整装置		-	電子式温度調節器	
保護装置		-	基板電源ヒューズ ドレンオーバーフロー防止用スイッチ	
製品質量		kg	25	
IPコード		-	IPX0	
電源		-	単相200V 50/60Hz	
標準化粧 パネル	型式	-	P-AP90DNA1	
	外装色 <マンセル(近似値)>	-	ニュートラルホワイト<4.56Y8.85/0.38>	
	外形寸法(幅×奥行×高さ)	mm	1100×710×30(天井下部)	
	質量	kg	7.5	
昇降グリル付き 化粧パネル	型式	-	P-AP90DNAU1	
	外装色 <マンセル(近似値)>	-	ニュートラルホワイト<4.56Y8.85/0.38>	
	外形寸法(幅×奥行×高さ)	mm	1100×710×30(天井下部)	
	質量	kg	8.5	

		吸込空気温度	
冷房 標準	室内	乾球	27°C
		湿球	19°C
	室外	乾球	35°C
暖房 標準	室内	乾球	20°C
	室外	乾球	7°C
		湿球	6°C

- (注) 1. 室内ユニット冷房/暖房能力は、右表の運転条件(JIS B 8616:2015)で運転した場合の室内ユニット1台当り相当能力を示します。
 2. 室内ユニット冷房/暖房の消費電力は、室内ユニットの送風機用電動機等に消費する値を示します。
 3. 音圧レベル運転音は反響の少ない無響室で、製品下方1.5mの測定位置における値(Aスケール)を示します。
 実際の据付状態は周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。
 4. 音響パワーレベル運転音はJIS B 8616:2015に基づいた値です。
 5. 本機に補助電気加熱器は組み込めませんので、ご注意ください。
 6. 天井内の温湿度は、30°CDB、RH80%以下にてご使用ください。この条件を超えと思われる場合には、別売の高湿度対応キットおよび高湿度対応パネルをご使用ください。
 7. 上表に記載の無い化粧パネルは、化粧パネル単体の仕様表をご覧ください。

品名	仕様表		作成日 2023-10-20
----	-----	--	-------------------

てんかせ2方向 室内ユニット 寸法図



記号		来歴		
品名	寸法図	投影法	尺度	単位
			NTS	mm
		作成日	2023-10-20	

空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン 店舗用室外ユニット 仕様表

品番

仕様表

運転条件(JIS B 8616)

項		目		仕様(50/60Hz)	
運 転 性 能	冷 房 性 能	定 格 標 準	能力	kW	4.0[1.4~4.5]
			消費電力	kW	0.737
			運転電流	A	2.3
			力率	%	93
			EER	kW/kW	5.43
		始動電流	A	-	
	暖 房 性 能	定 格 標 準	能力	kW	4.5[1.2~5.9]
			消費電力	kW	0.783
			運転電流	A	2.4
			力率	%	94
			COP	kW/kW	5.75
		最大低温	能力	kW	5.4
		消費電力	kW	1.68	
		始動電流	A	-	
		冷暖平均エネルギー消費効率		kW/kW	5.59
	最大運転電流		A	9.0	
	音圧レベル運転音(冷房/暖房)		dB(A)	45/47	
	音響パワーレベル運転音(冷房/暖房)		dB(A)	65/67	
	外装色<マンセル(近似値)>		-	ナチュラルグレー<2.9Y7.8/1>	
	外形寸法<W×D×H>		mm	799(+99)×300×629	
	圧縮機		-	0.65kW 全密閉形	
	熱交換器		-	多通路クロスフィン式	
	冷媒種類×封入量(出荷時)		-	R32×1.3kg	
	冷媒制御装置		-	電子膨張弁	
	冷暖房切換装置		-	電磁四方弁	
	送風機		-	プロペラファン×1	
	風量(冷房/暖房)		m ³ /min	45.9/45.9	
	送風機用電動機		kW	0.05	
	保護装置		-	高圧遮断装置 電流検出用変流器 基板電源ヒューズ [*] 動力用ヒューズ [*] 吐出ガス過熱防止用サーミスター	
	製品質量		kg	38	
	冷媒配管径(液側/ガス側)		mm	φ6.35/φ12.7	
	IPコード		-	IPX4	
	電源		-	三相200V 50/60Hz	
	法定冷凍能力		トン	1.17	

		吸込空気温度	
冷房標準	室内	乾球 27°C	湿球 19°C
	室外	乾球 35°C	
暖房標準	室内	乾球 20°C	
	室外	乾球 7°C	湿球 6°C
暖房低温	室内	乾球 20°C	
	室外	乾球 2°C	湿球 1°C

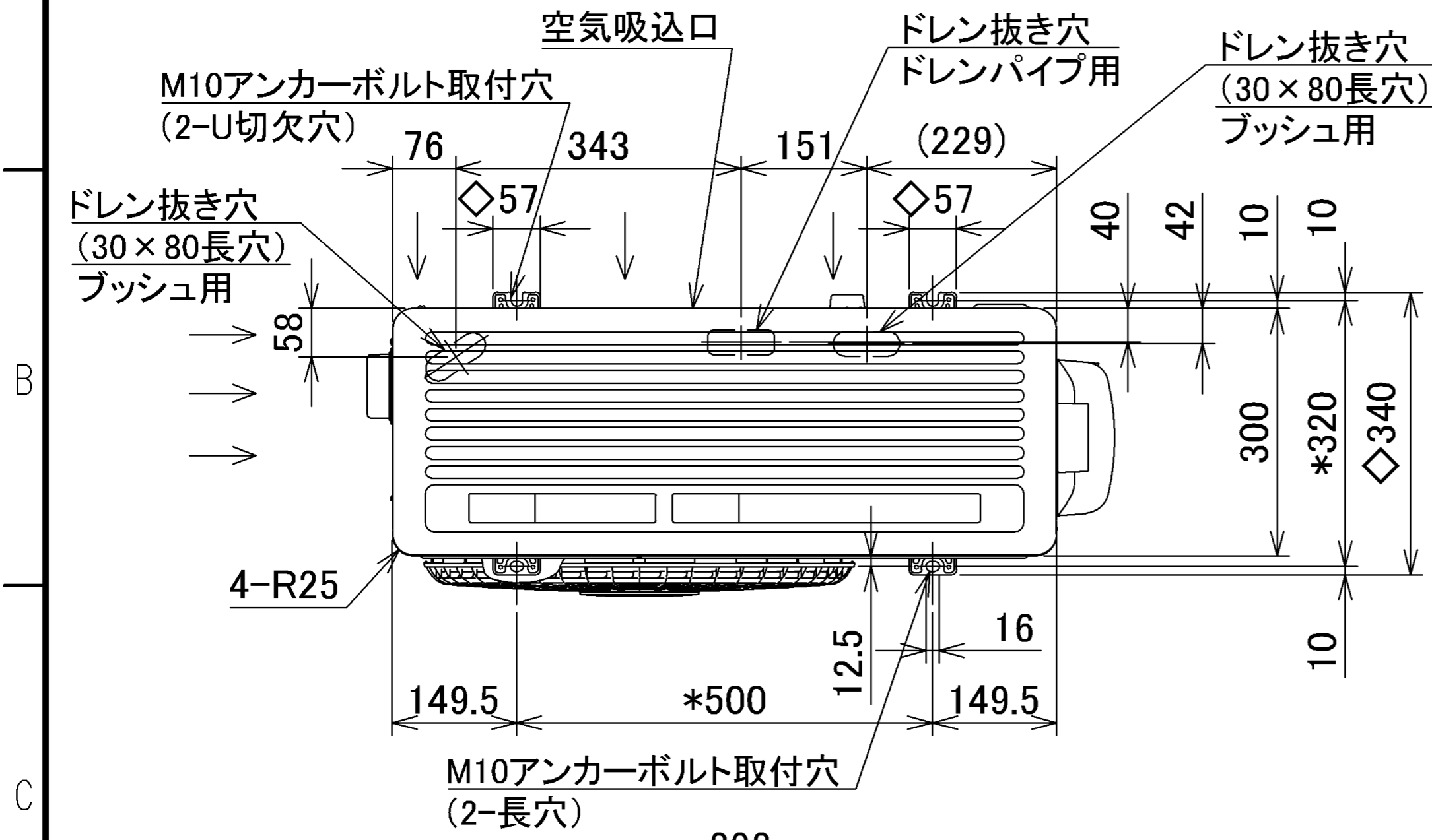
- (注) 1.運転性能はてんかせ4方向と組み合わせた場合の室外ユニット性能を示します。
[]内はインバーターによる可変範囲を示します。
2.運転性能は右上表の運転条件で運転した場合を示します。
(配管長 5.0 m・高低差 0 m)
3.音圧レベル運転音は反響の少ない無響室で、製品正面1.0m・地上高さ1.5mの測定位置における値(Aスケール)を示します。
実際の据付状態は周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。
4.音響パワーレベル運転音はJIS B 8616:2015に基づいた値です。

品名

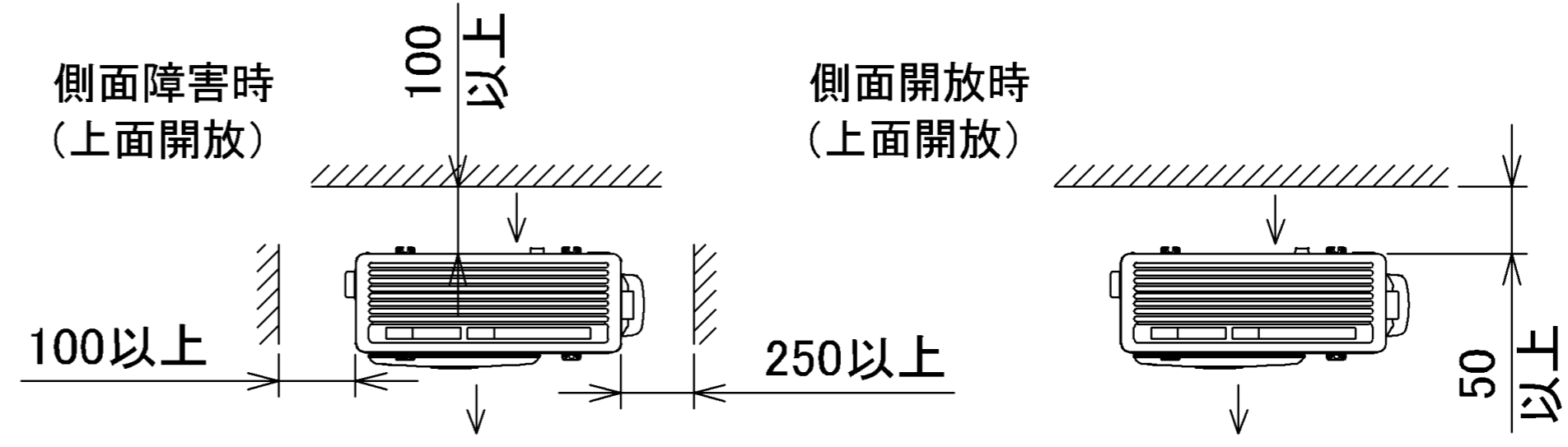
仕様表

作成日
2022-12-23

ヒートポンプ式パッケージエアコン 店舗用室外ユニット 寸法図



据付所要スペース



寸法表

型名	寸法	a	b	c	d	e
40~63型		22.5	109	129	12.7	6.35
80型		26.5	103	127.5	15.88	9.52

〈ドレン水排水について〉

暖房運転や除霜運転をしているときにドレン水が排出されます。また雨水も排出されます。

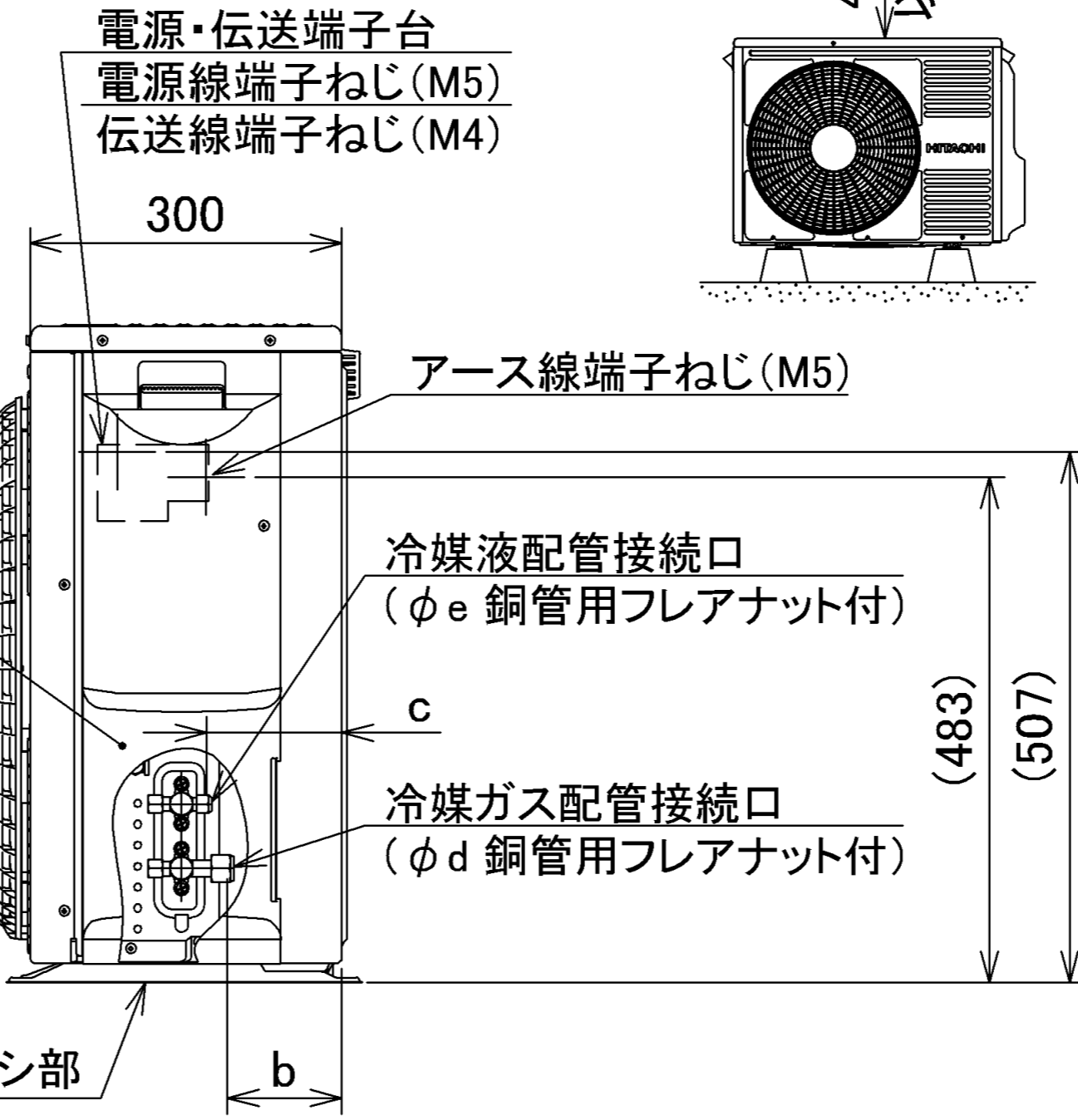
- ① 水はけの良いところを選ぶか排水溝を設けて排水してください。
- ② 通路の上方に設置すると水滴が落下しますので避けてください。やむを得ず設置する場合は、二次ドレンパンを設けて排水処理を実施してください。

〈据付場所について〉

逆風(プロペラファンに向かって吹く風)の当たらない場所に設置してください。雪が製品内部に侵入することを防止するためです。

〈強風が製品に当たる場所での設置について〉

- ① 強度が十分で安定した場所に基礎工事を行い、しっかりと固定してください。
- ② 製品の吹出口に強風が当たらないように設置してください。
- ③ 強風が吹出口に当たる場合は、防風セット(オプション)をご使用ください。詳細は据付点検要領書をご参照ください。



注記

1. 本機は、配管長30mまでのチャージレス機です。
配管長が30mを超える場合は、現地にて冷媒を追加する必要があります。
2. 阻止弁は配管カバー内部にあります。
3. 電源・伝送接続端子台とアース接続端子は配管カバー内部にあります。
4. *印寸法は、アンカーボルト取付穴ピッチ寸法を示します。
5. 室外ユニットを設置する際は、必ずアシ部(◇部)全面で荷重を受けてください。
基礎・架台等に設置する場合や、防振マットを取り付ける場合もアシ部全面で荷重を受ける構造としてください。詳細は据付点検要領書をご参照ください。

記号	来歴	
品名	寸法図	投影法
		NTS
尺度	単位	作成日
NTS	mm	2022-12-13

1 2 3 4

空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン てんかせ2方向室内ユニット 仕様表

品番	
----	--

仕様表

運転条件(JIS B 8616)

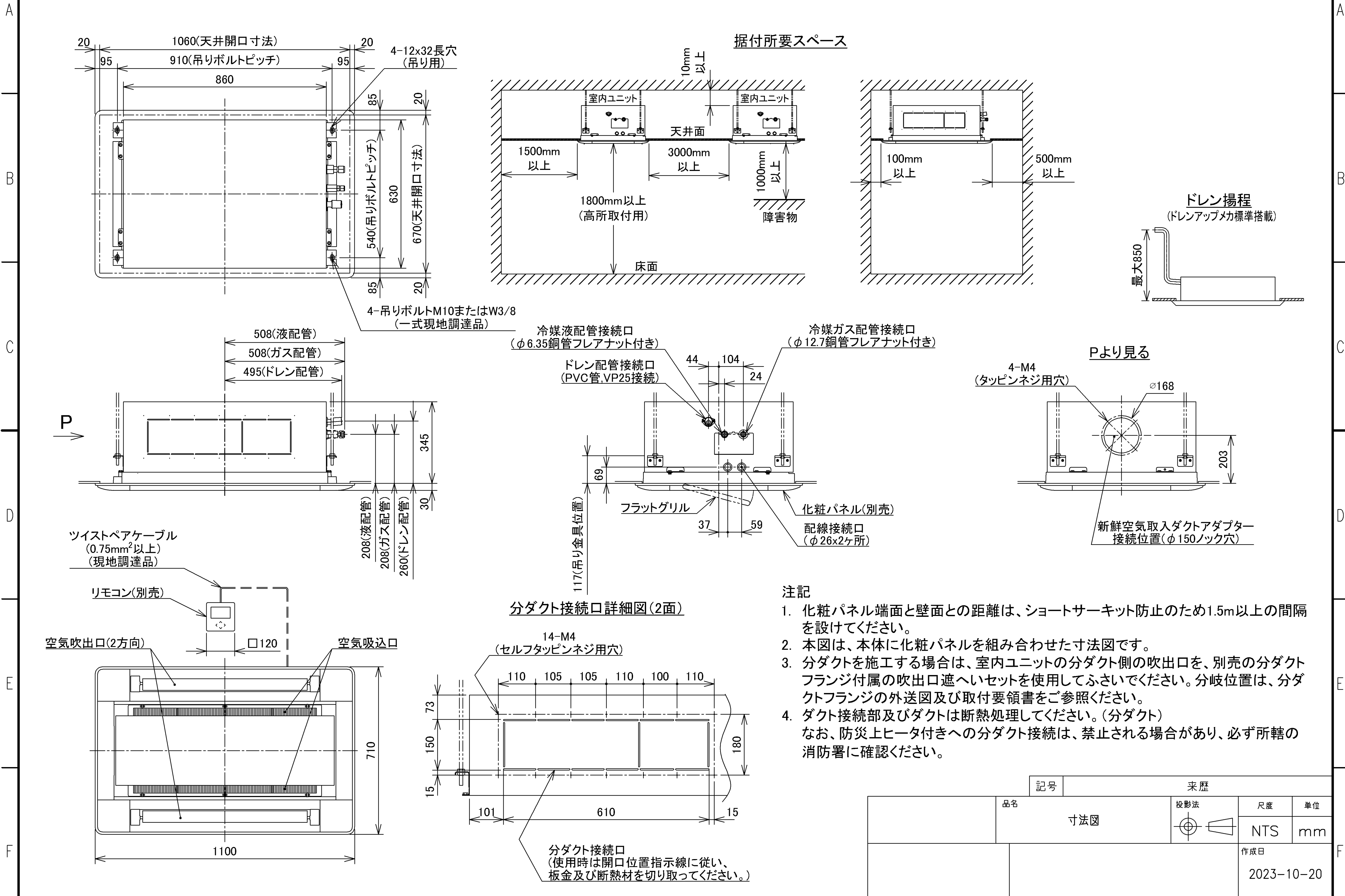
項		目		仕様(50/60Hz)
型		式		-
性能	冷房	定格能力	kW	4.5
		定格消費電力	kW	0.05
		ビル用マルチ冷房定格時の顕熱比 (SHF)	-	0.80
	暖房	定格能力	kW	5.0
定格消費電力		kW	0.04	
音圧レベル運転音(H急-急-強-弱)		dB (A)		37-34-31-30
音響パワーレベル運転音(H急-急-強-弱)		dB (A)		51-49-47-46
外装		-		溶融亜鉛めっき鋼板
外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm		860×630×345
エアフィルター		-		ポリプロピレン製(防カビ)
熱交換器		-		多通路クロスフィン式
冷媒		-		R410A/R32
冷媒制御装置		-		電子制御膨張弁
補助電気加熱器	消費電力		kW	-
	運転電流		A	-
送風機		-		片吸込遠心送風機×1
送風機用電動機(出力×個数)		kW		0.057×1
風量(H急-急-強-弱)		m ³ /min		15-13-11.5-10
機外静圧		Pa		0
風向調節		-		上下自動
空気温度調整装置		-		電子式温度調節器
保護装置		-		基板電源ヒューズ ドレンオーバーフロー防止用スイッチ
製品質量		kg		25
IPコード		-		IPX0
電源		-		単相200V 50/60Hz
標準化粧 パネル	型式		-	P-AP90DNA1
	外装色<マンセル(近似値)>		-	ニュートラルホワイト<4.56Y8.85/0.38>
	外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm	1100×710×30(天井下部)
	質量		kg	7.5
昇降グリル付き 化粧パネル	型式		-	P-AP90DNAU1
	外装色<マンセル(近似値)>		-	ニュートラルホワイト<4.56Y8.85/0.38>
	外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm	1100×710×30(天井下部)
	質量		kg	8.5

		吸込空気温度	
冷房 標準	室内	乾球	27°C
		湿球	19°C
	室外	乾球	35°C
暖房 標準	室内	乾球	20°C
	室外	乾球	7°C
		湿球	6°C

- (注) 1. 室内ユニット冷房/暖房能力は、右表の運転条件(JIS B 8616:2015)で運転した場合の室内ユニット1台当り相当能力を示します。
 2. 室内ユニット冷房/暖房の消費電力は、室内ユニットの送風機用電動機等に消費する値を示します。
 3. 音圧レベル運転音は反響の少ない無響室で、製品下方1.5mの測定位置における値(Aスケール)を示します。
 実際の据付状態は周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。
 4. 音響パワーレベル運転音はJIS B 8616:2015に基づいた値です。
 5. 本機に補助電気加熱器は組み込めませんので、ご注意ください。
 6. 天井内の温湿度は、30°CDB、RH80%以下にてご使用ください。この条件を超えと思われる場合には、別売の高湿度対応キットおよび高湿度対応パネルをご使用ください。
 7. 上表に記載の無い化粧パネルは、化粧パネル単体の仕様表をご覧ください。

品名	仕様表	
		作成日 2023-10-20

空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン てんかせ2方向 室内ユニット 寸法図



記号	来歴		尺度	単位
	品名	寸法図	NTS	mm
	作成日	2023-10-20		

防錆処理仕様書

対象製品			仕様	JRA 耐重塩害仕様
適用箇所	素材		塗装仕様(膜厚)	
外板カバー	ウエカバー	亜鉛鋼板	ポリエステル系樹脂 焼付処理 (合計45 μ m以上)	外表面のみ
	マエカバー サイドカバーR サイドカバーL	プレコート鋼板 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)	ポリエステル系樹脂 プレコート処理 ポリエステル系樹脂 焼付処理 (合計45 μ m以上)	
底ベース	高耐食性めっき鋼板 (溶融アルミニウム-マグネシウム 亜鉛合金めっき鋼板)		ポリエステル系樹脂焼付塗装 (合計30 μ m以上)	
熱交換器	フィン	クロメート系耐食処理 アルミニウム	—	
	側板類	アルミニウム鋼板	—	
送風機	羽根	AS樹脂(AS-G)	—	
	電動機架台	亜鉛鋼板	ポリエステル系樹脂焼付塗装 (合計30 μ m以上)	
吹出網	PP樹脂		—	
冷凍サイクル 配管	銅管ロー付部	銅管	—	
	銅管外表面	銅管	—	
	ステンレス管ロー付部	ステンレス管	—	
	ステンレス管外表面	ステンレス管	—	
	アルミニウム管ロー付部	アルミニウム管	—	
	アルミニウム管外表面	アルミニウム管	—	
銅管-アルミニウム管 接続部保護チューブ	ポリオレフィン		—	
外装用ねじ類	ステンレス		—	
<p>注記1. ネジ穴、端面部、コーナー部および板金と板金が重なる部分で、直接露出しない板金部等の塗膜厚さは、本塗装仕様の塗膜より薄くなります。また、外板等の裏面で直接風雨のかからない面の塗膜厚さは、本塗装仕様の塗膜より薄くなります。</p> <p>2. 製品改良のため、予告なしに仕様を変更することがあります。</p>				

1. 「JRA耐重塩害仕様」とは日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002(空調機器の耐塩害試験基準)に基づいています。

2. 据付上および維持管理上のご注意

JRA9002にも記載されておりますが、本仕様品を使用した場合でも下記のような配慮が必要です。

- (1) 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置すること。
(波しぶき等が直接かかる場所への設置は避けてください。)
- (2) 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるように配慮(例えば室外ユニットには日除け等は取り付けない)すること。
- (3) 室外ユニット底ベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、底ベース内の水抜け性を損なわないように、傾き等に注意すること。
- (4) 海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行うこと。
- (5) 据え付け、メンテナンス等で付いた傷は、補修すること。
- (6) 機器の状態を定期的に点検すること。(必要に応じて再防錆処理や部品交換等を実施してください。)
- (7) 基礎部品の排水性を確保すること。

品名

防錆処理仕様書

作成日
2025-10-17